



イワシ

むれで いきる さかな

おおかただあき

ふくいんかんしょてん

大片忠明作

福音館書店

うみのなかをうごく、おおきなかたまり。イワシのむれです。えさをもとめていつもむれでおいでいます。だけど、とりやほかのさかなにたべられ、にんげんにまきあみりょうでつかまり、イワシはどんどんすくなくなっていくます。のこったイワシはやがてべつのむれとであい、またおおきなむれになります。むれでいきるこそこそが、いきのこるためのちえなのです。

鮮やかなイワシの絵と、海の青い色が印象的な科学絵本です。

